

ヤマト運輸労働組合横浜支部は第61回定期支部大会を2023年10月13日(金)12時30分より神奈川県労働文化センターにて開催されました。



冒頭、佐藤副執行委員長から開会宣言があり、その後、議長に新田代議員(横浜小菅ヶ谷職場)、書記に栗原代議員(横浜吉野町職場)が選出されました。中対資格審査委員長から12時20分現在横浜支部定期大会の代議員数49名に対し47名の出席の報告を受け開会されました。

主権者を代表して高橋執行委員長から挨拶がありました。コロナの影響により3年間レクの開催がなく職場の方たちとの交流が図れなかったが、今期は数回に分けて開催する。安全面では、日頃から決められた安全への取り組みにより、交通事故ゼロ運動での連続無事故を達成することができました。築き上げた物は直ぐに崩れます。苦勞して築き上げたものは崩さないように継続を訴えました。最後に事業構造改革で進められている大型拠点化によるお話がありました。

来賓挨拶は運輸労働神奈川連合会から望月書記次長がお見えになり、統一地方選挙のお手伝いや地区連絡協議会、青年婦人部など県連活動に対し感謝の言葉をいただきました。また保養所についてお話がありました。また運輸労働神奈川県連合会は活動の見えるかをしております。HP、フェイスブック等で確認できる事が申し伝えられました。

本部より望月常任中央執行委員がお見えになり2024年問題と秋季生活改善交渉の取り組みについてお話がありました。

友岡副委員長より、昨年の大会以降の承認された運動方針に基づいた一年間の活動報告があり、分会活動報告は各分会長から、専門部活動報告は専門部長からそれぞれ報告をしました。阿部

財政部長・竹ノ内会計監査より、第2号議案2023年度決算報告、2023年度会計監査報告があり承認されました。

鈴木書記長より第3号議案2024年度運動方針(案)、第4号議案2024年度予算(案)、2025年度暫定予算(案)が可決され承認しました。

役員改選では松野選挙管理委員長より、立候補者の氏名が発表され、全員の当選を確認しました。高橋執行委員長を初めとする34名の新体制が確立され2024年度がスタートしました。新旧役員挨拶では新執行部を代表して、高橋執行委員長が決意表明を行い、挨拶の中で退任された中村前執行委員・遠藤前執行委員・柿田前執行委員・柿沼前執行委員の功績を称えました。中村前執行委員・遠藤前執行委員・柿田前執行委員・柿沼前執行委員より退任の挨拶がされました。川嶋副執行委員長が議長団を解任し閉会の挨拶を行い閉会となりました。

